

[23]機能性品質基準(1/2) (カーテン類、布製マスク、カバン類は別途個別基準も参照の事)

1. 機能性

試験項目	適用規格	判定基準	特例判定基準及び備考
はっ水性	JIS L 1092 スプレー法	処理前:4級以上 処理後:2級以上	・法対象品以外でメリット表示を付ける製品に適用 ・漏水がある場合は、判定より除外(その旨付記する)
吸水性	JIS L 1907 滴下法	編地 12秒以下 織地・靴下 60秒以下	・タオル地に適用
	JIS L 1907 沈降法	60秒以下	
速乾性	拡散性残留水分率(0.6ml滴下)	拡散性残留水分率が10%に至るまでの時間 【織地】 セルロース系100%:65分以下 合成繊維100%:45分以下 【編地】 セルロース系100%:75分以下 合成繊維100%:55分以下	・セルロース系繊維と合成繊維混用品は、その割合によって比例配分した数値を基準値とする。 (基準値計算式) 織地(分): $45+(A \times 0.2)$ 編地(分): $55+(A \times 0.2)$ A:セルロース系繊維の混用率(%)
		乾燥時間 【織地】 セルロース系100%:80分以下 合成繊維100%:70分以下 【編地】 セルロース系100%:85分以下 合成繊維100%:75分以下	・セルロース系繊維と合成繊維混用品は、その割合によって比例配分した数値を基準値とする。 (基準値計算式) 織地(分): $70+(A \times 0.1)$ 編地(分): $75+(A \times 0.1)$ A:セルロース系繊維の混用率(%)
		乾燥時間 【織地】 セルロース系100%:40分以下 合成繊維100%:30分以下 【編地】 セルロース系100%:45分以下 合成繊維100%:35分以下	・セルロース系繊維と合成繊維混用品は、その割合によって比例配分した数値を基準値とする。 (基準値計算式) 織地(分): $30+(A \times 0.1)$ 編地(分): $35+(A \times 0.1)$ A:セルロース系繊維の混用率(%)
抗菌防臭	JIS L 1092	抗菌活性値 2.2以上 (洗濯前後)	・SEK基準に基づく
制菌	JIS L 1092	抗菌活性値 \geq 増殖値 (洗濯前後)	・SEK基準に基づく
消臭性	機器分析試験法 (検知管法、GC法)	下記減少率以上(洗濯前後) 汗臭:アンモニア80%、酢酸70%、 イソ吉草酸95% 加齢臭:アンモニア80%、酢酸70%、 イソ吉草酸95%、ノネアル90% その他臭気は、SEK基準に従う	・SEK基準に基づく
抗ウイルス性	JIS L 1922、ISO18184	抗ウイルス活性値 \geq 3.0 (洗濯前後)	・SEK基準に基づく
抗かび性	JIS L 1921、ISO13629-1	肌着、靴下などの一般衣料品 抗かび活性値 2.0以上 洗濯頻度が少ない繊維製品 抗かび活性値 3.0以上	・SEK基準に基づく
接触冷感	JIS L 1927	$q_{\max} \geq 0.1 (\Delta T: 10^{\circ}\text{C})$ $q_{\max} \geq 0.2 (\Delta T: 20^{\circ}\text{C})$	・指定が無い場合は、 $\Delta T: 10^{\circ}\text{C}$ にて実施
保温性	JIS L 1096 A法(恒温法)	対照品との差が5.0%以上	
	KESサーモラボII型 ドライコンタクト法		
汗じみ防止	試験試料裏側に水を1滴(0.04ml)滴下し、変退色用グレースケールを用いて滴下直後と5分後の表側への水の染み出し程度の判定を行う	直後 4級以上 5分後 3-4級以上	
紫外線遮蔽性	JIS L 1925 紫外線遮蔽率	80%以上	・表示がある場合は、表示値以上
	JIS L 1925 紫外線防護係数	UPF15以上	
吸湿発熱	ISO 18782	$\Delta T \geq 1.6^{\circ}\text{C}$ (合成繊維100%) $\Delta T \geq 2.8^{\circ}\text{C}$ (その他) または 対象品との最大上昇温度差が 0.5 $^{\circ}\text{C}$ 以上	
	QTEC法(案)	対象品との最大上昇温度差が 0.5 $^{\circ}\text{C}$ 以上	

[23]機能性品質基準(2/2) (カーテン類、布製マスク、カバン類は別途個別基準も参照の事)

1. 機能性(続き)

試験項目	適用規格	判定基準	特例判定基準及び備考
光吸収発熱性	JIS L 1926	未加工との差 +2°C以上	
遮熱性	JIS L 1951	未加工との差 +2%以上	・遮熱率表示がある場合は、表示値以上
帯電性	JIS L 1094 半減期測定法	半減期10秒以下且つ 摩擦耐電圧3000V以下 または	
	JIS L 1094 摩擦帯電圧測定法	半減期60秒以下且つ 摩擦耐電圧1500V以下	
	JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定法	7 μ C/m ² 以下	・導電繊維を含む製品に適用
	JIS T 8118	0.6 μ C/1着以下	・導電繊維を含む製品に適用 ・製品にて実施
防汚性	JIS L 1919 A-1法 (泥汚れ等の粗い粉体汚れ)	絶対評価 3.5 級以上(SG/SR) 相対評価 3.0 級以上、かつ未加工 工布との差が1.0 以上(SG/SR)	・SEK基準に基づく ・表示内容に準じてSG(汚れが付きにくい) またはSR(汚れが落ちやすい)の両方 または何れかを実施
	JIS L 1919 A-2法 (埃等の細かい粉体汚れ)		
	JIS L 1919 B法 (親水性汚れ)		
	JIS L 1919 C法 (親油性汚れ)		
花粉汚れ試験	織技協法	汚れが洗濯で落ちやすい(SR) 4.0 級以上	・SEK基準に基づく ・花粉の落ちやすさを評価する
		汚れが付きにくい(SG) 3.0 級以上	・SEK基準に基づく ・花粉の付きにくさを評価する
花粉リリース性	QTEC法	減少率 80%以上	・花粉の落ちやすさを評価する
防透け性	JIS L 1923	防透け指数93.0以上	・水着については、湿潤試験で防透け指数97.0以上であること
抗ピル性	JIS L 1076 A法	3.5級以上	・合繊混、起毛品などの特例基準無し
ストレッチ性	伸長率 JIS L 1096 B法 伸長回復率 JIS L 1096 B-1法	伸長率 10%以上 伸長回復率 80%以上(1時間後)	・織地に適用
ウォッシュャブル	取扱表示及び付記用語通り 洗濯回数:5回	洗濯1回目と5回目の結果が各製品規格の外観・縫製・耐洗濯性基準を満たすこと	・コート、スーツ、ジャケット、スラックスなどの製品や毛・絹・麻などを含み一般的に家庭洗濯不可と思われる製品で「家庭で洗える」、「洗濯機で洗える」などのメリット表示を付ける製品に適用
形態安定性	JIS L 1930 C4M 洗濯回数:10回 乾燥方法:表示通り	洗濯1回目と10回目の結果が以下基準を満たすこと	・()内はスリット・前割れ及びたて方向に柄等がある製品に適用
		外観・縫製 異常がないこと 寸法変化率 織地 \pm 1.5%以内 編地 \pm 3%以内 変退色 4級以上 色泣き 目立たないこと パッカリング 3.5級【織地】 斜行 7(5)%以下【編地】 防しわ 3.2級以上	
防しわ性	取扱表示及び付記用語通り 洗濯回数:5回	防しわ 3.5級以上	・製品にて実施
	JIS L 1059-1 モンサント法	80%以上	

2. 加工耐久性

耐洗濯性	JIS L 1930 C4M 吊干し 5回	繰返し5回処理後も各試験の基準値を満たしていること	・後加工をしているものに適用 ・SEK基準があるものは、処理・回数はSEK基準に従う
耐ドライ性	取扱表示通り 3回	繰返し3回処理後も各試験の基準値を満たしていること	・はっ水性については、家庭用品品質表示法の処理・回数に従う